

実証 P J 部会活動計画

1. 目的と範囲

実証 P J 部会は、実証プロジェクトの実証事業遂行の統括管理を行う。併せて本事業終了後の自走化と普及に向けての検討を行い、整備委員会へ提言する。

2. 活動計画

(1) 実証プロジェクトの統括管理

実証 P J 部会は採択された実証プロジェクトの実証事業遂行に関する統括管理を行う。実証プロジェクトへ技術面の支援が必要な場合は、技術部会へ技術支援を要請する。

(2) 本事業終了後のビジネスデータ連携基盤の自走化と普及についての提言

実証 P J 部会は本事業終了後のビジネスデータ連携基盤の自走化と普及についての方策を検討し、整備委員会へ提言を行う。

(3) 整備委員会への報告

実証 P J 部会は実証プロジェクトの事業遂行状況を整備委員会へ報告する。各実証プロジェクトの活動成果を横断的に取りまとめ活動報告書として委員会へ提出する。

3. 実証 P J 部会体制

(1) 実証 P J 部会委員構成

部会長：川内 晟宏 プロセス経営研究所 代表

委員：小松 靖直 日本商工会議所 情報化推進部長

水谷 学 一般社団法人コンピュータソフトウェア協会（CSAJ）筆頭副会長

＜採択された実証プロジェクトより委員を選任する＞

(3) 委員会開催頻度

委員会の開催時期、およびプロジェクトの進捗状況を勘案して 6 回程度開催する。